



千葉市立千城台南中学校

令和7年度 7号

発行日 令和7年10月9日(木)

043-237-1521

◆前期終了にあたって◆

校長 山口 鉄也

早いもので、4月に今年度がスタートしてから、1年の学校生活の半分が終了しました。今年度が充実した1年になるよう願い、入学式や始業式でお話をしましたが、充実した日々を送ることはできましたか？ポイントとして、話してきたことは3つありました。簡単に確認すると、1つ目は上級生が下級生に対し「行動」や「やさしい言葉かけ」を示せる校風を大事にすること。2つ目は、「人との関わり」・「信頼関係」を大事にすること。3つ目は、学習や部活動などの諸活動において、基礎・基本を大事にし、それを継続させること。

学校全体には、感染症の拡大防止に努めながら、各行事を中止することなく、一生懸命に、あるいは充実した形で実施することができました。また、部活動や各種発表会等の面においても、複数の生徒が立派な成績を修めることができました。多方面において、多くの生徒が素晴らしい頑張りを見せてくれていると思っています。

ただし、各自に目を向けたとき、いかがでしょうか。本日、通知表が渡されて、前期の自分の頑張りがどう評価されているのか、知ることになります。先生方からの指導や助言も含め、4月からの自分の活動を振り返り、良かった点と課題となる点について考えてみてください。

最後に、夏休みと比較すれば短い「秋休み」ですが、休み明けの後期のスタートには、新たな目標をもって、元気に登校してきてほしいと思います。



◆前期終了にあたって、各学年代表生徒の話◆

入学して半年がたち、中学生として自覚も芽生えてきました。私たち、学年生徒会は、「中学校生活を知ろう」という目標を掲げて、半年間活動してきました。多くの行事を先輩たちと作る中で、体育祭や合唱コンクール、立会演説会などの実行委員の大切さを知りました。私以外の人も実行委員の大切さに気付いたと思います。どうすればスムーズに行事が進むのか、どうすればみんなが困らないかなどを休み時間や放課後の時間を使って考え、行事をよいものにしてくれました。先輩方が中心となって、当日の計画や進行などをしてくれたおかげで行事がスムーズに進みました。私たち1年生も、これまで以上に自主的に参加してみんなでよい行事にしていけるとよいなと思います。

また、日常生活の中で委員会の仕事を自分から進んでできるようになっていったと思います。最初は、自分の仕事内容がまだ覚えられていなくて失敗ばかりでした。でも、その生活にもだんだん慣れていて先輩たちに教えられなくても自分から行動できる人が増えていきました。

私は半年間で、自主的に行動ができるようになった人が増えたと思います。でも、まだ課題はあると思います。委員会などの集まりを忘れてしまったり、学級での仕事を忘れてしまったりというところです。なので、後期の半年で、自分の仕事を忘れずに進んでやるということを目標に学年全体で更に成長していきたいです。



私は、二年生になって、はじめてのことにチャレンジをしたいと考え、学級会長に立候補しました。学級会長になって、注意する側の大変さや気持ちを知ることができました。そのおかげで、注意する相手の気持ちを考えて行動しようと思うようになりました。学級会長を経験して、1年生の頃は、2分前着席に対して意識していませんでしたが、意識して行動できるようになりました。また、学年全体で1年生の頃より、考えて行動する人が増えたと感じます。学年集会など、並んで移動する際、声をかけられて動き出す人がいましたが、今は、各自が意識して動けるようになったと思います。学年生徒会の具体的な活動で、あいさつ運動を実施してきましたが、目標とするあいさつにたどりつきませんでした。学年全体で、引き続き取り組んでいきましょう。後期に向けて、前期にできたことは継続して、足りなかつたことを意識しながら、3年生という最高学年に向けて、学校の先頭に立ち、支えられるような学年になれるようにしましょう。

2学年代表



前期の終業式を迎える、中学生活最後の前期を振り返ると、たくさんの思い出とともに、私たちが大きく成長できることを実感します。特に、体育祭、部活動は、私たちに多くの学びと成長の機会を与えてくれました。最後の体育祭では、自分は応援団員として白組をまとめてきました。最初は、3年生の団長や団員が自分のことで精一杯になり、後輩を引っ張ることができないこともあります。しかし、放課後の練習や全体練習を重ねる中で、体育祭への思いが強くなり、自分たちのやるべきことがわかり、後輩を引っ張っていくことができました。時には行動が遅くやり直しになったり、失敗したりしましたが体育祭を成功させることができたのは、3年生だけではなく、1・2年生の協力があったからです。この体育祭を通して仲間と協力することの大切さを学ぶことができました。

そして、総体を最後に引退した部活動。思うような結果が出ず、悔しい思いをした人もいるかも知れません。しかし、練習を乗り越え、何度も壁にぶつかりながらも、「最後まで諦めない」気持ちを貫いた日々は、皆さん的心と体を強くし、総体でも最後まで諦めずに戦い抜くことができました。特に、勝敗だけではない、目標に向かって努力し続けることでよいチームワークを作ることができることを私たちは学びました。後輩たちにしっかりと引き継がれた皆さんの熱い思いは、これからもこの学校で生き続けるでしょう。

楽しい行事を終え、私たちの学校生活は、いよいよ「受験」という大きな目標に向かって動き出します。これまで、たくさんの思い出を作ってきたように、今度は将来の夢に向かって、ひたむきに努力する時期です。不安な気持ちもあると思いますが、私たちは一人ではありません。

前期で学んだ「最後まで諦めない」気持ち、困難に立ち向かう力、そして、仲間と協力する心を忘れなければ、必ず乗り越えられます。

受験勉強は、自分の弱点と向き合うつらい作業かもしれません、それは同時に、自分自身を成長させる最高のチャンスです。これまでに、皆さんがそれぞれの計画を立てて努力した成果は、必ず後期に花を咲かせると信じています。

前期の経験を胸に、全員で力を合わせ、3学年のよさである明るいところを最大限に引き出し、このメンバーで過ごせる残り少ない学校生活を大切に過ごしていき、胸に張って卒業できるように、全力で駆け抜けていきましょう。

3学年代表

